

夷耶馬・鷲巣岳地域のほ乳類

夷耶馬・鷲巣岳地域は、瀬戸内海国立公園内にあり、スギ、ヒノキの人工林の中にもイノシシ、ニホンジカなどのほ乳類が生息しています。

ほ乳類の生息調査では、直接動物を観察し、写真等で記録を取ればよいのですが、現実にはなかなか困難です。そこで、動物の糞、足跡、食跡(食べた跡やカス)、体毛、ねぐら、けもの道、休息場所などを手がかりに探して調査します。



林の中のけもの道

けもの道

動物たちは林の中で自由気ままに動き回るのではなく、いつも一定のルートを移動します。その結果、林の中には「けもの道」という動物が通る道ができます。その周辺には、動物たちの残した痕跡(糞、体毛、食跡等)を発見することができます。その痕跡からどんな動物が生息しているかが分かります。

動物の糞

動物の糞は、形や色も動物の種類によって違い、動物を知る大きな手がかりとなります。肉食性の動物の糞には餌となる動物の体毛や時には骨などが含まれています。草食性の動物には、植物の繊維質が含まれています。

草食動物であるニホンジカの糞には、細かくすりつぶされた植物繊維しか含まれていません。形も楕円形で、粒数も数十から百粒以下です。糞の形状や色つやから生活の新旧も予測できます。



ニホンジカの糞



イタチの糞

イタチとテンの糞の区別はなかなか難しいですが、肉食が主なイタチでは、糞の中に餌となる動物の体毛が混じっています。一方、野生のイチゴ類の実を食べるテンの糞には、果実の実が多く含まれています。

タヌキの糞は「溜め糞」と呼ばれ、けもの道をそれた見通しのきくところで何回も糞をします。まさに人間の便所にあたる糞場があり、近付くと大変臭います。

足跡

足跡も動物を知る大きな手がかりになります。特に、雨や雪の降った後には足跡がはっきり残されていることがあります。

ウサギの足跡などは、大変特徴的で後ろ足で飛び跳ねながら移動するので前足に比べ後ろ足が大きく、常に前足の前方にきます。一度見たら忘れられないような足跡をしています。



イノシシの足跡

夷耶馬・鶯巣岳で確認された動物

ノウサギ	糞・足跡で確認	イノシシ	糞・足跡で確認
タヌキ	糞・足跡で確認	ニホンジカ	個体確認
イタチ	糞・足跡で確認	キツネ	聞き取り調査で確認
テン	糞・足跡で確認	ニホンザル	聞き取り調査で確認